

第4章 産業・経済

—魅力と活力あふれる産業・経済の振興—

松山は、四国最大の都市として、また瀬戸内経済圏の中核的な都市として発展してきましたが、長期化する厳しい経済状況は本市にもその影を落としており、暮らしを支えてきた地域経済を活性化し、安定した雇用を確保することが必要です。

今後は、人口集積や多彩な歴史文化・観光資源の魅力、大学等の高い技能や知識の集積といった、松山が持つ資源と可能性を最大限に活かして、圏域をリードしていく力強い経済を実現することが求められています。

そこで...

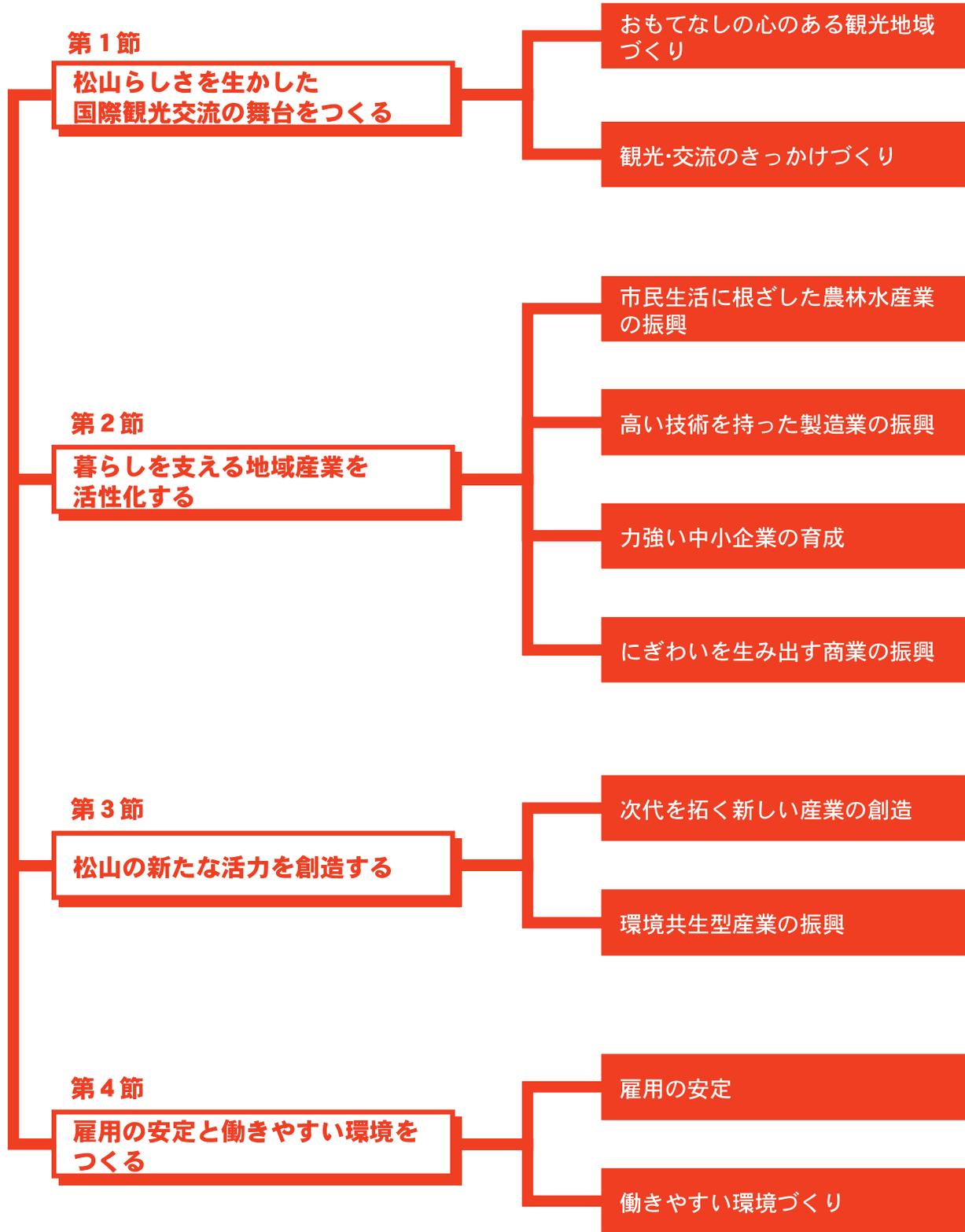
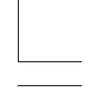
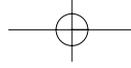
これまで地域経済を支えてきた産業の高度化、高付加価値化※と後継者などの人材の育成を支援するとともに、産学官の連携や企業立地などを促進し、環境や情報通信分野など、新しい時代にふさわしい地域活力の創造を推進します。

とりわけ観光は、毎年500万人が訪れ、わが国でも有数の地位を占めており、価値観の多様化や高齢化の進展などによる新しいニーズに対応した総合的な魅力を高めていきます。

果樹園芸などの都市近郊型の農業やつくり育てる漁業の振興とともに、地産地消の推進など健康と安全を指向する消費者ニーズに対応した農林水産業を支援します。

都市としての魅力や活力の維持・向上のために、中心市街地や地域の商店街の活性化を支援します。

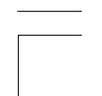
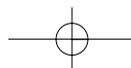
就労意識が変化する中で、暮らしのセーフティネットとしての雇用の安定確保やゆとりと生きがいのある就労環境の整備を促進します。



産業・経済

※産業の高度化、高付加価値化

他では真似のできない高い技術を用いたり、今までになかったサービスや機能などの新しい魅力を付け加えることで、国際的な競争に勝ち抜く商品やサービスを生産・提供できる産業に育成すること。



第4章 産業・経済 第1節 松山らしさを生かした国際観光交流の舞

おもてなしの心のある観光地域づくり

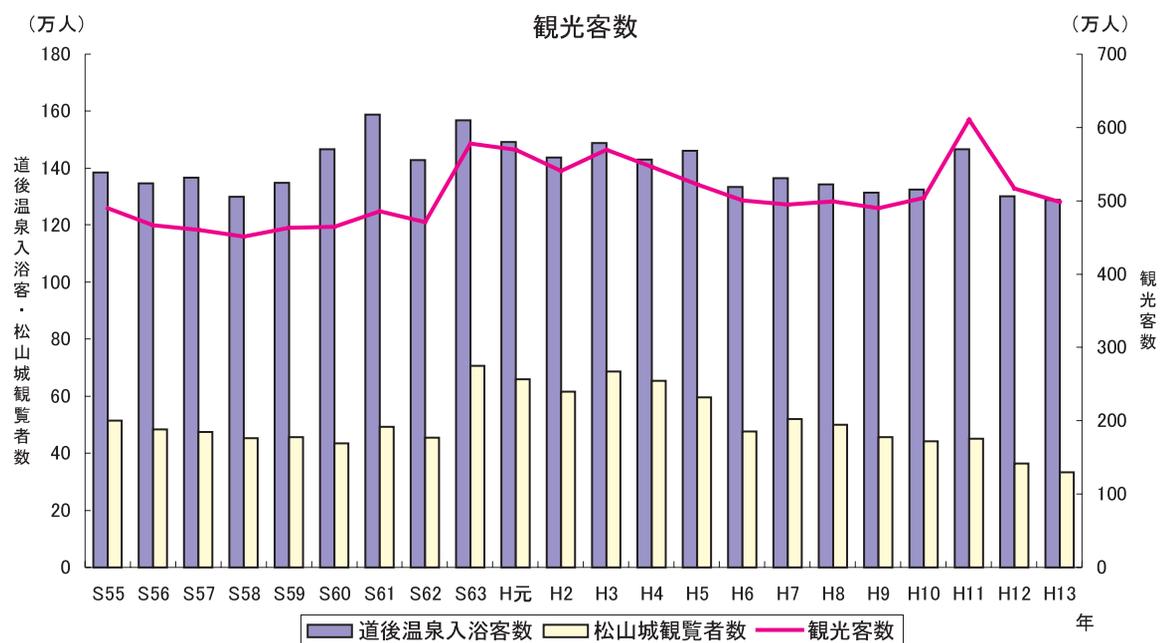
【基本的な考え方】

本市は、豊かな自然環境とともに、道後温泉や松山城のほか、正岡子規をはじめとする俳句や夏目漱石の小説「坊っちゃん」など、数多くの歴史的、文化的資源に恵まれています。近年、観光客は減少傾向にあります。

本市産業の中で重要な役割を担う観光産業の活性化のためにも、おもてなしの心をもって、市民・企業・行政が一体となり、松山らしさを生かした観光地域づくりに努めていかなければなりません。

そこで、本市の既存観光資源を有効に活用しながら、「『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり」を基本とした、回遊性のある新たな観光魅力を創出するとともに、陸海空の交流基盤を生かした新たな広域観光ルートの開発など、訪れた人々に感動と安らぎを与える観光地域づくりを進めます。

産業・経済



台をつくる

施策の概要

魅力ある観光資源づくり 4111

伝統的な観光資源の活用とともに、「坂の上の雲」フィールドミュージアムの整備による新たな観光魅力を創出します。

- (主な内容)
- ・歴史的、文化的観光資源の活用
 - ・「坂の上の雲」フィールドミュージアムの拠点整備とネットワークの充実
 - ・広域観光ルートづくり
 - ・観光イベントの充実

受け入れ体制の整備 4112

だれもが安心して観光できる施設整備など、おもてなしの心のある受け入れ体制の整備を進めます。

- (主な内容)
- ・施設などのバリアフリー化
 - ・観光案内システムづくり
 - ・観光ボランティアの育成
 - ・観光関連産業の振興

【指標と目標】

指 標	現状値	目標 (H24)
観光客数	502万人 (H14年)	600万人
観光案内ボランティア数	85人 (H14年度)	200人

観光客による消費額 約591億円 (平成14年推計)

市民による松山城、道後周辺のボランティアガイド

第4章 産業・経済 第1節 松山らしさを生かした国際観光交流の舞

観光・交流のきっかけづくり

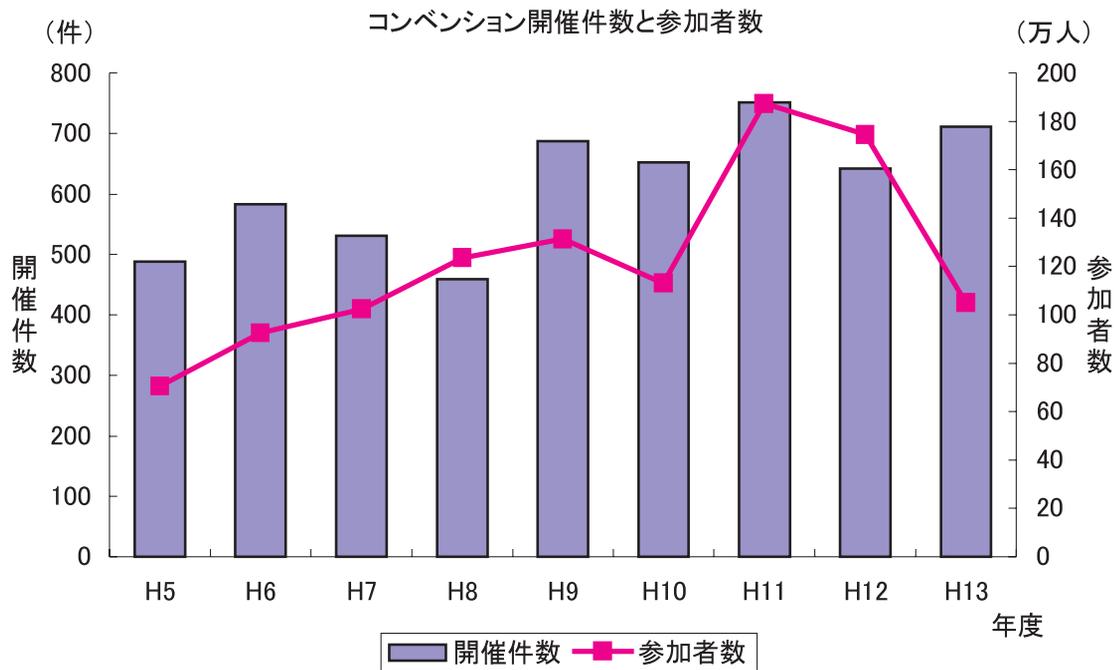
【基本的な考え方】

国内外で観光地間の競争が激しくなる中で、多くの来訪者をもたらす観光やコンベンション[※]の振興は、本市経済においても重要な役割を果たしています。

そこで、観光による交流人口を増やすために、松山の魅力や広域的な観光情報のほか、新たな観光客のニーズに対応したさまざまな情報を発信するなど、国内外に向けた誘致宣伝活動を進めていきます。

さらに、国際線が就航する松山空港の利用促進などを図り、海外からの観光客の誘致を一層活発化させ、国際的な観光・交流のきっかけづくりを進めます。

産業・経済



台をつくる

施策の概要

情報発信の充実

4121

多様化する観光ニーズに対応したきめ細かな情報提供サービスを充実します。

- (主な内容)
- ・アジア地域など海外への観光PRの展開
 - ・ITを活用した情報提供サービスの充実
 - ・観光案内、宣伝の充実

コンベンションの誘致促進

4122

コンベンションの主催者や参加者のニーズに対応した受け入れ体制の整備を図り、積極的な誘致・支援を行います。

- (主な内容)
- ・コンベンション開催の支援
 - ・コンベンション関連施設の整備
 - ・コンベンション機能や観光情報のPR

【指標と目標】

指 標	現状値	目標 (H24)
ホームページ観光サイトのアクセス数	800件/日 (H14年度)	1,600件/日
コンベンションの参加者数	105万人 (H13年度)	190万人

松山市ホームページの観光情報サイトへのアクセス件数

世界各国や国内・県内各地から参加者が集まるコンベンション（会議、イベント、大会、見本市など）の開催を促進します。

※コンベンション(=convention)

国内外から参加者が集まる会議、学会、見本市、イベントなどのさまざまな大会や会合のこと。

第4章 産業・経済 第2節 暮らしを支える地域産業を活性化する

市民生活に根ざした農林水産業の振興

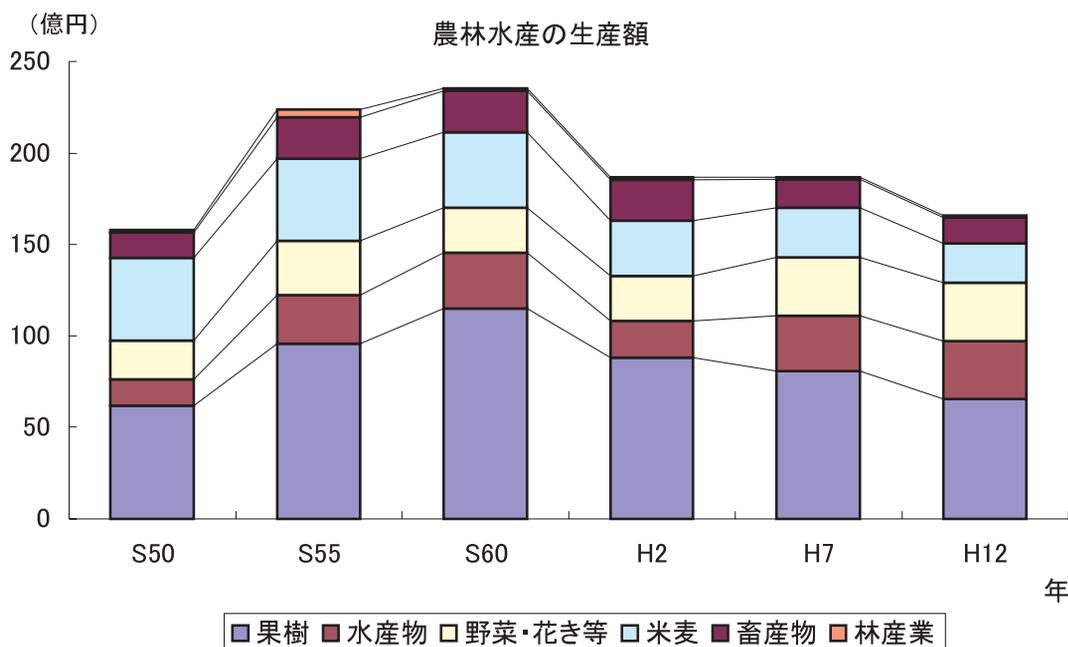
【基本的な考え方】

本市は、四国最大の都市であるとともに、豊かな自然環境を背景にした農林水産業を有する地域でもあります。近年は農産物の価格低迷や後継者不足などにより、厳しい経営環境となっています。

一方で、食の安全性をめぐるさまざまな問題から、地元の食材を地元で消費する地産地消の考え方や、農業を体験するニーズも広がる中、新しい経営感覚を持って高付加価値型農業^{*}に挑戦する生産者も見られるようになってきました。

こうした農林水産業を取り巻く環境変化を的確につかみ、新しい感覚で経営する生産者を支援しながら、持続的に経営できる生産環境の整備を行い、地域に根ざした農林水産業の振興を図ります。

産業・経済



施策の概要

経営の高度化・担い手の育成 4211

生産性の高い農林水産業への誘導、支援を行うとともに、担い手の育成に努めます。

- (主な内容)
- ・認定農業者などへの支援
 - ・経営研修の実施
 - ・農業新技術の開発と普及
 - ・後継者育成の支援

生産基盤の整備 4212

新鮮で安全な農林水産物を安定的に供給していくために、生産基盤の整備を進めます。

- (主な内容)
- ・土地改良の推進
 - ・林道整備の推進
 - ・漁場の造成や改良
 - ・漁港の整備

ふれあい農業の推進 4213

農業を身近に感じることのできる機会の拡充に努めます。

- (主な内容)
- ・市民農園など農業とふれあう機会の充実
 - ・遊休農地の活用
 - ・地場農産物の消費促進

【指標と目標】

指 標	現状値	目標 (H24)
認定農業者数	95経営体 (H13年度)	300経営体

農業経営基盤強化促進法に基づき、将来の本市農業の担い手として認定された農業者数

※高付加価値型農業

新たな技術やノウハウなどを導入して、希少な品種や高品質な農作物を生産したり加工を加えるなどして、商品価値を高めた農産物を販売する農業のこと。

第4章 産業・経済 第2節 暮らしを支える地域産業を活性化する

高い技術を持った製造業の振興

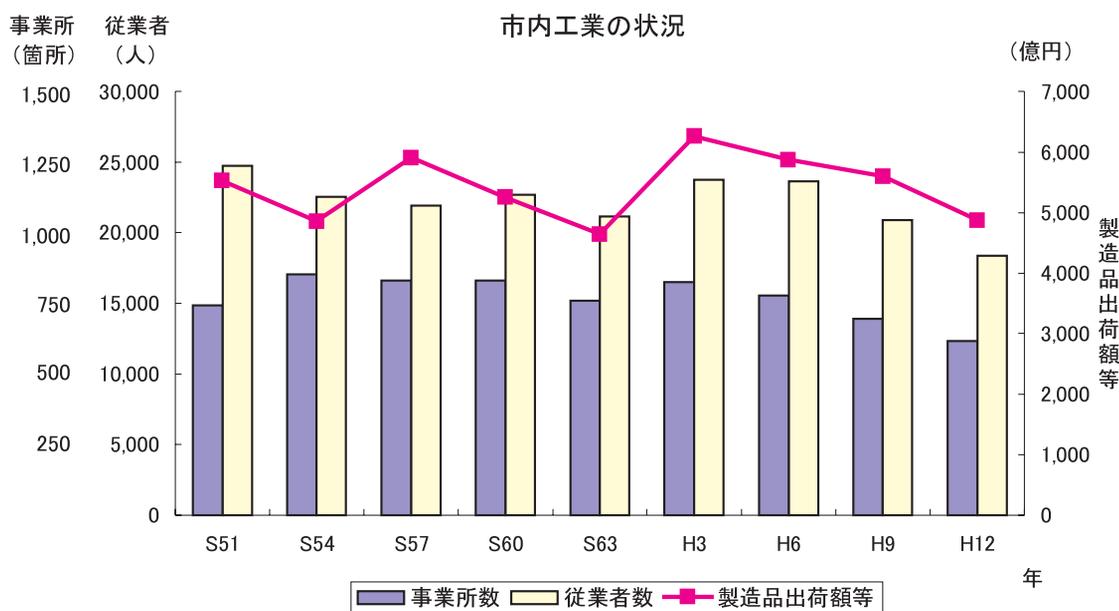
【基本的な考え方】

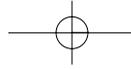
本市の製造業は、一般機械、化学工業製品、食料品などが重要な地位を占める一方で、伝統工芸品など本市を代表する地場産業も数多く存在します。

しかし、産業構造の変化や国際的な競争が激化する中で、製造業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

こうした中で、市内製造業を維持し発展させていくためには、高度技術の導入や新製品の研究開発を支援するとともに、これまで集積してきた産業や人材などを生かしながら質の高い製造業への移行を支援します。

産業・経済





施策の概要

高度化の促進

4221

産学官の連携強化を図り、技術の高度化※や新分野への事業展開を促進します。

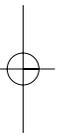
- (主な内容)
- ・製造技術の高度化支援
 - ・産学ネットワーク化の支援
 - ・研究開発の支援
 - ・人材育成の支援

地場・伝統産業の振興

4222

地場・伝統産業を支える技術や技能の継承と、消費者ニーズの多様化に対応した新商品の開発、販路拡大を支援します。

- (主な内容)
- ・製品の高付加価値化※の支援
 - ・新商品の開発支援
 - ・新たな市場開拓の支援
 - ・情報化の促進



【指標と目標】

指 標	現状値	目標 (H24)
従業員1人当たりの製造品出荷額 (対全国比)	89.8% (H13年度)	100% (全国平均) を上回る

愛媛県内12市のうち本市は第7位 (平成12年度)

※技術の高度化

大学や試験研究機関での研究成果を活用したり、海外企業との共同等により、他社では実現できない高い水準の技術を獲得すること。

※高付加価値化

高品質や希少な商品を開発して、製造原価に比べて他より高い販売価格で売ることのできる商品を開発すること。

